

Improving Male Menopausal Symptom by 5-Aminolevulinic Acid (5-ALA)

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2019-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 子安, 洋輝 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002324

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2102 号

Improving Male Menopausal Symptom by 5-Aminolevulinic Acid (5-ALA)

(5-アミノレブリン酸含有食品摂取における男性更年期障害に対する改善効果の検討)

子安 洋輝 (こやす ひろき)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は血清総テストステロン値が低値ではない男性更年期障害患者に対して 5-アミノレブリン酸含有食品摂取により更年期症状に対する改善効果の検討を行ったものである。対象は更年期症状を有する日本人男性かつ 35 歳以上 75 歳未満、Aging male's symptoms スコアが軽症～中等症、血清総テストステロン 4.0ng/ml 以上を満たす者とした。方法としては試験食品をランダムに配布し 5-アミノレブリン酸含有食品摂取群、プラセボ群の 2 群に振り分け試験食品を 8 週間連続摂取し検討した。結果としては 5-アミノレブリン酸含有食品摂取群において Aging male's symptoms スコアは摂取前と摂取 8 週間後の比較において有意差を認めた。両群の群間比較においては摂取 8 週間後に Aging male's symptoms スコアに有意差を認めた。本研究結果から 5-アミノレブリン酸含有食品を摂取することにより男性更年期障害における症状を改善させる可能性が示唆された。本論文は男性更年期障害患者に対し 5-アミノレブリン酸を投与した研究成果をまとめたものである。現在でも男性ホルモンが正常の男性更年期障害の治療方針については明確な指針は存在していないが、本研究は 5-アミノレブリン酸の更年期症状改善作用の可能性を示しており非常に有意義な研究であると思われる。よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。